

## オフセット印刷用刷版材料「CTP版」の新生産ラインを稼働

世界的に拡大する需要と高まる環境対応型製品のニーズに対応！

平成 23 年 12 月 8 日

富士フイルム株式会社(社長:古森 重隆)は、オフセット印刷用刷版材料「CTP 版」の需要拡大に対応するため、刷版材料の世界 4 極生産拠点<sup>※1</sup>の 1 つである FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.(オランダ)において、最新鋭技術と省エネ設備を導入した「CTP 版」新生産ラインを平成 24 年 1 月上旬から稼働させます。

印刷市場では製版工程のデジタル化に伴い、刷版の作成にあたって文字・画像等のデジタルデータを、フィルムを経由せず直接出力できる CTP 版の需要が拡大しています。また、環境意識の高まりから、現像処理が不要で廃液がでない無処理 CTP 版や現像処理工程の簡易化で廃液量が削減できるローケミカル CTP 版などの環境に配慮した製品が強く求められています。

今回の新生産ラインは、富士フイルム独自の表面処理技術である MULTIGRAIN V(マルチグレイン ブイ)技術<sup>※2</sup>を導入したラインです。これにより、耐刷性および高精細画像の再現性に優れた CTP 版を安定的に生産することが可能。さらに、より高度な生産技術が求められる無処理 CTP 版やローケミカル CTP 版の生産にも対応しています。

また新ラインには、従来、独立して稼働させていた排ガス燃焼装置と天然ガス・コージェネレーション設備<sup>※3</sup>を 1 つに統合することで排熱利用率をさらに高めた、当社独自開発の循環型エネルギーシステム「Co-generative Thermal Oxidizer(コージェネレイティブ サーマル オキシダイザー、CTO)」を導入。排ガス燃焼装置の排熱を活用しながら、新ラインで必要となる動力(電気・蒸気・温水)を発生させることができるため、従来のラインで生産する場合と比べて、排熱利用率が 11%向上し、CO<sub>2</sub> 排出量も年間約 5,500t 削減することができます。<sup>※4</sup>

FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.では、最大 2 メガワットの発電能力を持つ風力発電設備 5 基を設置し、稼働させています。現在、同工場の使用電力の約 20%を風力発電で賄い、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

富士フイルムは、長年にわたり、印刷製版機材のリーディングカンパニーとして、オフセット印刷向け製版用フィルム、CTP 版、PS 版、プリプレス分野のソフトウェア、フィルム・プレートセッターなど、多様な製品群の開発・生産・販売をワールドワイドに展開してきました。今後も当社コア事業の 1 つであるグラフィックシステム事業をさらに拡大・発展させ、世界の印刷産業の発展に貢献していきます。

※1 世界 4 極生産拠点:日本・アメリカ・オランダ・中国。

※2 CTP 版の支持体であるアルミの表面に、4 層の複合的な砂目(微細な凹凸)をつける技術。

※3 天然ガスを燃料として発電効率の高いガスエンジンやガスタービンにより発電を行い、その際に発生する排熱を蒸気や温水などで回収し、有効利用する熱電供給システム。

※4 当社試算。

### <新生産ラインの概要>

1. 会社名	FUJIFILM Manufacturing Europe B.V. (Industrieterrein Vosseenberg, Oudenstaart 1, 5047 TK Tilburg The Netherlands)
2. 生産品目	オフセット印刷用刷版材料「CTP 版」
3. 延床面積	約 19,000 m <sup>2</sup>
4. 稼働開始時期	平成 24 年 1 月上旬

本件に関するお問合せは、下記にお願いいたします。

(報道関係) 広報部	TEL 03-6271-2000
(お客様) グラフィックシステム事業部	TEL 03-6271-3027
インターネットホームページアドレス	<a href="http://fujifilm.jp">http://fujifilm.jp</a>